

## ① 機種

No.	機種名	床面積		間口	奥行	積雪強度													
1	DR-3157HP□・HY□	18.36m <sup>2</sup>	5.56坪	3130mm	5865mm	◆積雪強度◆													
2	DR-3157JP□・JY□					・一般型(P) : 1200N/m <sup>2</sup>													
3	DR-3157HP□・HY□-2					・豪雪型(Y) : 4500N/m <sup>2</sup>													
4	DR-3157JP□・JY□-2					※ 安全のため、一般型(P)は60cm以上、豪雪型(Y)は150cm以上積もらない													
5	DR-3157HP□・HY□-L					ように雪下ろしをしてください。													
6	DR-3157JP□・JY□-L					◆連棟時の注意事項◆													
7	DR-3657HP□・HY□		21.29m <sup>2</sup>	6.45坪	3630mm	強度の関係上、連棟数に応じて													
8	DR-3657JP□・JY□					間仕切壁または耐力壁が必要になります。													
9	DR-3657HP□・HY□-2		42.58m <sup>2</sup>	12.90坪	7260mm	(仕様についてはお問い合わせください。)													
10	DR-3657JP□・JY□-2																		
11	DR-3657HP□・HY□-L		N×21.29m <sup>2</sup>	N×6.45坪	N×3630mm														
12	DR-3657JP□・JY□-L																		
13	DR-3162HP□・HY□	19.92m <sup>2</sup>	6.04坪	3130mm	6365mm	間仕切壁の場合													
14	DR-3162JP□・JY□					積雪地域	2連棟	3連棟	4連棟	5連棟									
15	DR-3162HP□・HY□-2					一般地域	0	0	0	0									
16	DR-3162JP□・JY□-2					多雪地域	0	0	0	0									
17	DR-3162HP□・HY□-L					豪雪地域	0	0	0※1	1※2									
18	DR-3162JP□・JY□-L					耐力壁の場合													
19	DR-3662HP□・HY□		23.10m <sup>2</sup>	7.00坪	3630mm	積雪地域	2連棟	3連棟	4連棟	5連棟									
20	DR-3662JP□・JY□					一般地域	0	0	0	0									
21	DR-3662HP□・HY□-2		46.21m <sup>2</sup>	14.00坪	7260mm	多雪地域	0	0	0	0									
22	DR-3662JP□・JY□-2					豪雪地域	0	0	0	0									
23	DR-3662HP□・HY□-L		N×23.10m <sup>2</sup>	N×7.00坪	N×3630mm	※1 間口3630タイプは必要数1ヶ所。													
24	DR-3662JP□・JY□-L					※2 間口3630タイプは必要数2ヶ所。													
※機種名の□はTypeによって表記が異なります。A、B、Cのいずれかが入ります。																			
床面積・間口のNは連棟数を表します。																			
※3 DR-3657タイプは必要数2ヶ所。																			
注 6連棟以上の時はご相談ください。																			
注 間仕切壁を取り付ける箇所には、豪雪柱の取り付けは不要になりますのでご注意ください。																			

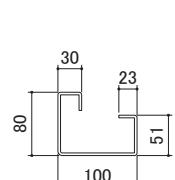
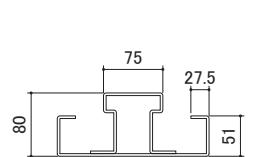
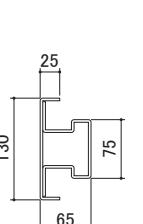
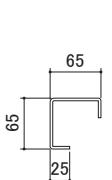
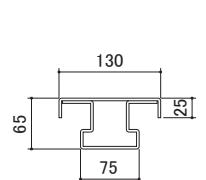
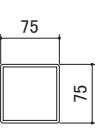
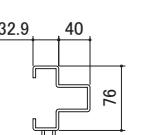
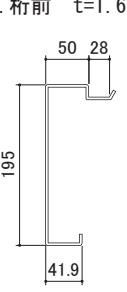
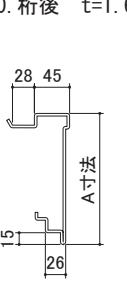
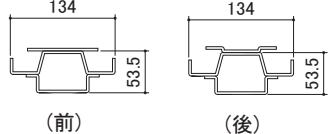
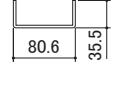
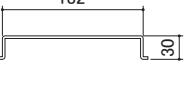
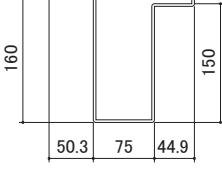
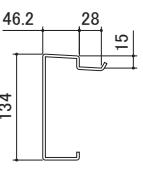
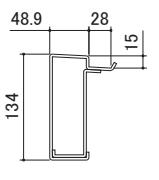
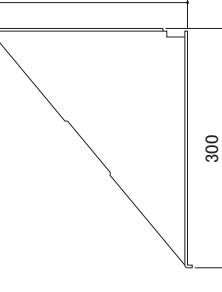
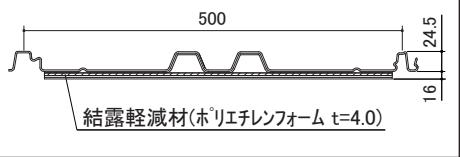
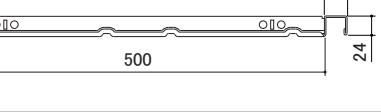
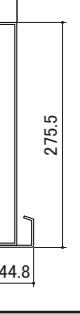
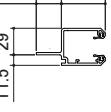
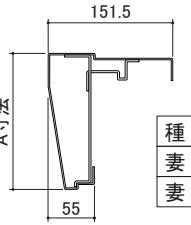
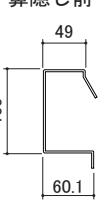
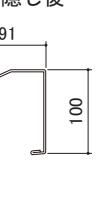
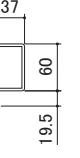
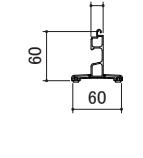
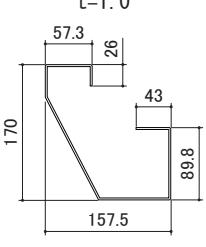
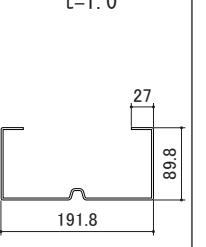
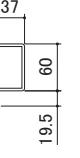
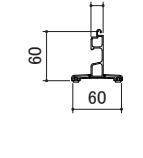
**② 主要部材仕様**

品番	主要部材	材質	呼び厚さ (mm)
1	土台枠	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	1.2
2	柱前左右	"	2.3
3	柱前中(連続型)	"	1.6
4	柱中左右	"	1.2+1.6
5	柱後左右	"	1.6
6	柱後中(連続型)	"	1.2+1.6
7	豪雪柱{豪雪型のみ}	一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466 Z18)	2.3
8	梁中枠取付金具(連続型)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	3.2
9	桁前	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317 Y10) または溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	1.6
10	桁後	"	1.6
11	梁左右	"	1.0
12	梁中前(連続型)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	2.0+3.2
13	梁中後(連続型)	"	2.0+3.2
14	梁中屋根板(連続型)	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317 Y10) または溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	1.0
15	下枠カバー(連続型)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	2.3
16	梁中カバー(連続型)	"	0.7
17	母屋中央	"	1.6
18	母屋中	"	1.2, {1.6+2.3}
19	結露軽減材付屋根パネル	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317 Y10) または溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12) ポリエチレンフォーム	0.5 4.0
20	壁パネル	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	0.7
21	妻板左右	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317 Y10)	0.7
22	鼻隠し前後	"	0.7
23	コ一ナ一金具	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	2.3
24	化粧柱前左右	"	1.0
25	化粧柱前中	"	1.0
26	胴縁(Jタイプのみ)	"	1.2
27	シャッター(スラット)	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)	0.8
28	シャッターカバー	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	1.2
29	シャッターレール	アルミニウム合金押出形材	—
30	幕板	アルミニウム合金押出形材	—
31	シャッターケース	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	0.7
32	ドア枠	アルミニウム合金押出形材	—
33	ドア枠固定板上	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	1.0+0.6
34	ドア枠固定板左右	"	1.2
35	ドア枠カバー左右(Hタイプのみ)	"	0.7
36	目板	アルミニウム合金押出形材	—
37	框ドア エツジ材 面材	" 型板強化ガラス	— 4.0
38	※化粧パネル	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	0.5
39	※ルーバー天井	アルミニウム合金押出形材	—
40	※照明取付板前・中央	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302 F12)	1.2

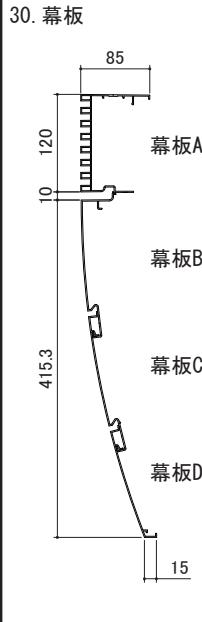
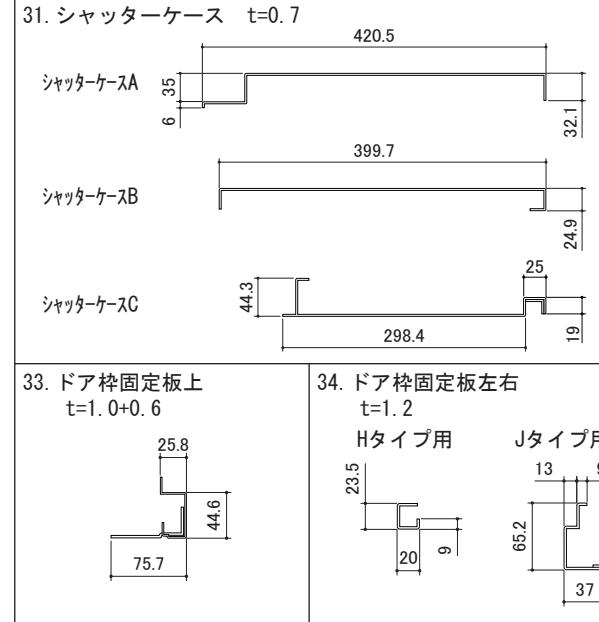
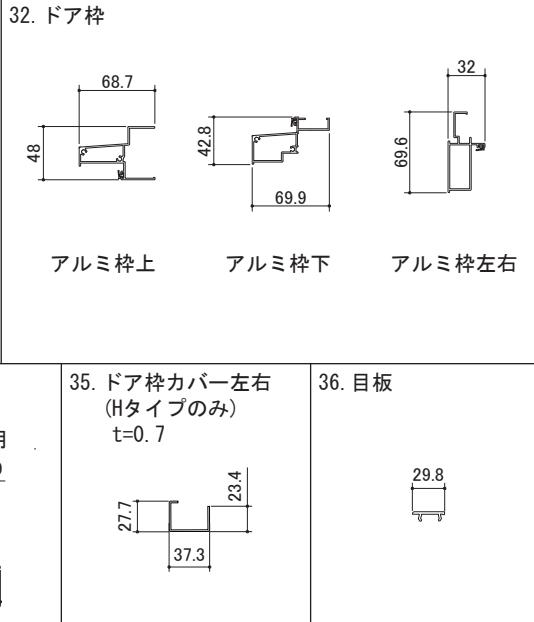
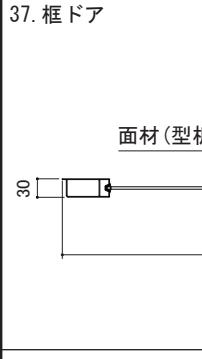
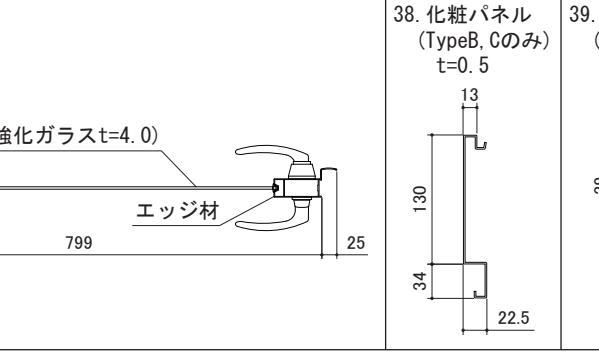
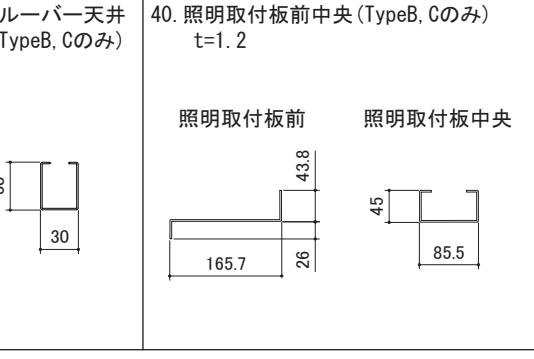
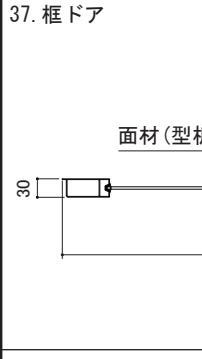
※の部材はTypeB、TypeCのみ使用。

{ }内は、豪雪型を示す。

### ③ 主要部材断面図

1. 土台枠 $t=1.2$ 	2. 柱前左右 $t=2.3$ 	3. 柱前中(連続型) $t=1.6$ 	4. 柱中左右 $t=1.2+1.6$ 	5. 柱後左右 $t=1.6$ 	6. 柱後中(連続型) $t=1.2+1.6$ 
7. 豪雪柱{豪雪型} $t=2.3$ 	8. 梁中枠取付金具(連続型) $t=3.2$ 	9. 枠前 $t=1.6$ 	10. 枠後 $t=1.6$ 	11. 梁左右 $t=1.0$ 	◆梁左右前◆ A寸法 340.5~482 ◆梁左右後◆ A寸法 5865mm 210.5~328.5 6365mm 186.5~328.5
14. 梁中屋根板(連続型) $t=1.0$  (前) (後)	15. 下枠カバー(連続型) $t=2.3$ 	16. 梁中カバー(連続型) $t=0.7$ 	12, 13. 梁中前・後(連続型) $t=2.0+3.2$ 	◆梁中前◆ A寸法 418.2~522.7 ◆梁中後◆ A寸法 5865mm 251.9~418.2 6365mm 227.9~418.2	
17. 母屋中央 $t=1.6$ 	18. 母屋中 一般型 $t=1.2$  豪雪型 $t=1.6+2.3$ 	23. コーナー金具 $t=2.3$ 			
19. 結露軽減材付屋根パネル $t=0.5$  結露軽減材(ポリエチレンフォーム $t=4.0$ )	20. 壁パネル $t=0.7$ 	28. シャッターカバー $t=1.2$ 	29. シャッターレール 		
21. 妻板左右 $t=0.7$  種類 A寸法 妻板前 150~165.5 妻板後 135~150	22. 鼻隠し前後 $t=0.7$ 鼻隠し前  鼻隠し後 	26. 脊縁(Jタイプのみ) $t=1.2$ 	27. シャッター(スラット) $t=0.8$ 	※水切板はアルミニウム合金押出形材です。	
24. 化粧柱前左右 $t=1.0$  157.5 89.8	25. 化粧柱前中 $t=1.0$ 	26. 脊縁(Jタイプのみ) $t=1.2$ 	27. シャッター(スラット) $t=0.8$ 	※水切板はアルミニウム合金押出形材です。	

### ③ 主要部材断面図

30. 幕板 	31. シャッターケース $t=0.7$ 	32. ドア枠 	
33. ドア枠固定板上 $t=1.0+0.6$ 	34. ドア枠固定板左右 $t=1.2$ Hタイプ用 Jタイプ用 	35. ドア枠カバー左右 (Hタイプのみ) $t=0.7$ 	36. 目板 
37. 框ドア 	38. 化粧パネル (TypeB, Cのみ) $t=0.5$ 	39. ルーバー天井 (TypeB, Cのみ) 	40. 照明取付板前中央 (TypeB, Cのみ) $t=1.2$ 照明取付板前 照明取付板中央 

#### ④ オプション仕様

部品名	材質	材質記号(JIS番号)	呼び厚さ(mm)
壁面扉(特注品)	溶融亜鉛めっき鋼板	F12(JIS G 3302)	0.8
ガラス窓	エッジ材	アルミニウム合金押出形材	-
	面材	型板ガラス	4.0

#### ⑤ 部品仕様

部品名	材質	表面処理・色
ボルト	冷間圧造用炭素鋼線材(SWRCH 10R相当)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8(三価)+ZECコート
ネジ板	一般構造用圧延鋼材(SS400)	
シャッターレールカバー	ポリエチレン押出し材	黒
ボルトキャップ	AES樹脂またはASA樹脂	フランネルグレー

#### ⑥ 表面処理及び塗装

- (1) 塗装する素地は下地処理をするものとし、脱脂、水洗工程を経て化成処理をしております。
- (2) 塗料は高耐候粉体塗料ポリエステル樹脂を使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
- (3) 膜厚および塗装色は下表に示す通りです。
- (4) シャッターの塗装色は、クールシルバーです。

塗装部品	膜厚		塗装色(マンセル番号)
	屋外面	屋内面	
土台枠	40μm以上	40μm以上	フランネルグレー (N3.3 半艶)
柱前左右・柱前中	〃	〃	
柱中左右	〃	〃	
柱後左右・柱後中	〃	〃	
豪雪柱{豪雪型のみ}	〃	〃	
桁前・桁後	〃	〃	
梁左右	〃	〃	
梁中	〃	〃	
母屋中央	-	〃	
母屋中	-	〃	
屋根パネル	〃	〃	ミストグレー(N7)
壁パネル	〃	〃	フランネルグレー (N3.3 半艶)
妻板左右	〃	〃	
鼻隠し前後	〃	〃	

## ⑦ 耐久性

### ◎塗装面

項目	試験内容	試験規格
(1) 耐食性	5%塩水を噴霧する耐塩水噴霧性試験に500時間耐えること。	JIS K 5600-7-1
(2) 耐塩水性	3%塩水に浸す浸せき法による耐液体性試験に96時間耐えること。	JIS K 5600-6-1
(3) 耐衝撃性	500mmの高さから500gのおもりを落とすデュポン式による耐おもり落下性試験に耐えること。	JIS K 5600-5-3
(4) 鉛筆硬度	硬度Hの鉛筆法による引っかき硬度試験に耐えること。	JIS K 5600-5-4
(5) 付着性	1mm間隔のクロスカット法による付着性試験に耐えること。	JIS K 5600-5-6
(6) 耐候性	サイクルAのキセノンランプ法による促進耐候性試験に360時間耐えること。	JIS K 5600-7-7

### ◎開口部の可動

項目	試験内容	試験規格
(1) 開閉繰返し耐久性 (シャッター)	シャッターは、開閉繰返し試験に耐えること。	JIS A 4704
(2) 開閉繰返し耐久性 (引戸、開き戸)	引戸、開き戸は、開閉繰返し試験に耐えること。	JIS A 6603

## ⑧ 不燃認定番号

塗装鋼板はすべて不燃材料です。

部材	認定番号
シャッター(スラット)	NM-8697
結露軽減材付 屋根パネル(オプション)	NM-5674
その他塗装部材	NM-4113-3およびNM-5380-2